始発：ひたち１号
東京6:53 水戸8:10

2022.9.10 土曜日

常陽藝文センター

第１会場　7F　ホール　（３００名）

セッション	時間	発表	質疑応答	座長	演者	タイトル
開会挨拶・会長講演	8:30-9:00	30分		阪本雄一郎	小豆畑丈夫会長	
茨城県知事　ご挨拶	9:00-9:10	10分			茨城県　知事 大井川和彦	
特別講演１	9:10-10:00	50分		鈴木邦彦 細谷辰之	横倉義武	在宅・救急・かかりつけ医　～連携で紡ぐ地域医療の基盤～
シンポジウム１	10:00-11:40	100分		新型コロナを経験した社会における、新しい在宅医療と救急（病院）医療		
	10:00-10:12	10分	2分		中村謙介	COVID後遺症から考える救急在宅連携
	10:12-10:24	10分	2分		菊池亮	コロナ禍に学ぶ、求められる医療提供体制
	10:24-10:36	10分	2分		河野大輔	当院における在宅救急の連携から今後の地域医療に求められる医療体制を考える
	10:36-10:48	10分	2分	真弓俊彦	守上佳樹	KISA2隊、西へ
	10:48-11:00	10分	2分	島田潔	池田光憲	在宅救急の連携と実践～当院の取り組みから～
	11:00-11:12	10分	2分		久野将宗	在宅でのCOVID-19以外の発熱対応
	11:12-11:35	23分				総合討論
	11:35-11:40	5分			池端幸彦	特別発言
移動・休憩	11:40-12:00	20分				
	12:00-12:50	50分				
移動・休憩	12:50-13:10	20分				
要望演題基調講演 要望演題１（３演題）	13:10-14:00	50分				
基調講演	13:10-13:30	20分		下田重人	竹田主子	医療プロフェッショナリズム教育の実践～医師としてALS患者として
要望演題１（３演題）	13:30-13:40	7分	3分	井上淑恵	安栄良悟	原発性悪性脳腫瘍患者に対する在宅診療導入
	13:40-13:50	7分	3分		小林美香	新型コロナウイルス感染症拡大後における訪問看護師の役割とニーズの変化～訪問看護ステーション「のぞみ」におけるケースを通して～
	13:50-14:00	7分	3分		太田友	病院と在宅医療の連携による意思決定支援
特別講演2	14:00-14:50	50分		井川誠一郎 仲井培雄	山形専	医療のエコシステム体制の構築 --これからの新しい医療連携体制の形--
休憩		10分				

第２会場　2F　会議室２０１（８７名）

セッション	時間	発表	質疑応答	座長	演者	タイトル

水戸京成ホテル

第３会場　2F　瑠璃の間　（240名）

セッション	企業	座長	演者
ランチョンセミナー	セコム医療システム株式会社	照沼秀也	牧卓

11F オーキッド（５６名）

セッション

シンポジウム２

15:00-16:40　100分　在宅救急における、Advance Care Planning（ACP）と診療トリアージ

15:00-15:07	7分		会田薫子	座長発言
15:07-15:22	13分	２分	櫻井淳	トリアージという言葉の多様性
15:22-15:34	10分	2分	川口有美子	新型コロナで浮上したトリアージに関する議論をめぐって
15:34-15:46	10分	２分	瓜生悠平	急変時のためにACPが必要なのか？
15:46-15:58	10分	２分	石上雄一郎	救急/災害の現場でAdvance Care Planning(ACP)は役立つのか？
15:58-16:35	37分			総合討論
16:35-16:40	5分		新田國夫	特別発言

木下浩作
会田薫子

要望演題２（５演題）重症児

16:40-17:30　50分

16:40-16:50	7分	3分	本間りえ	ALD患者会の活動：重症児ケアの観点から
16:50-17:00	7分	3分	鈴木宏美	重症児ケアと救急搬送
17:00-17:10	7分	3分	川津有紀	重症児ケアの家族が新型コロナ感染した事例
17:10-17:20	7分	3分	上野多加子	重症児デイからの在宅連携搬送事例について
17:20-17:30	7分	3分	相良壮馬	医療ケア児に対する旅行支援と評価

紺野昌代
笠間真紀

要望演題３（５演題）

16:40-17:30　50分

16:40-16:50	7分	3分	前田俊輔	バイタルサインの個人の基準域を用いたMEWS（Modified Early　Warning Score）の在宅医療での活用事例
16:50-17:00	7分	3分	和田由佳	当院における訪問栄養食事指導の報告
17:00-17:10	7分	3分	關匡彦	在宅医療と救急医療の連携に関する文献的検討
17:10-17:20	7分	3分	廣木香織	在宅救急における医療連携とＭＳＷの役割
17:20-17:30	7分	3分	髙岩和枝	独居高齢者の夜間救急外来受診決定要因

庄古知久
遠藤拓郎

移動・休憩　17:30-17:50　20分

17:50-18:40　50分　イブニングセミナー　ニプロ株式会社　吉田雅博　若村邦彦

移動・休憩　20分

19:00-20:00　60分　拡大プログラム委員会

始発：ひたち１号
東京6:53 水戸8:10

2022.9.11 日曜日

	時間	時間	座長	座長	演者	タイトル
要望演題４（5演題）	8:30-9:20	50分				
	8:30-8:40	7分	3分		二ノ坂建史	在宅医療におけるTrousseau症候群の3例
	8:40-8:50	7分	3分	横堀將司	佐藤孝汰	訪問診療患者に対してソトロビマブを投与できた一例
	8:50-9:00	7分	3分	池上徹則	大山瞳	在宅褥創ケアを専門にする特定看護師が介入すると　こうなる
	9:00-9:10	7分	3分		伊東里沙	コロナ患者へのリハビリテーションの必要性
	9:10-9:20	7分	3分		郡愛	救急救命士に対する在宅医療研修プログラム
シンポジウム３	9:20-11:00	100分		在宅救急医療における、メディカル・スタッフ（看護師・薬剤師・ケアマネ・MSW・救急救命士など）の重要性とさらなる活躍の可能性		
	9:20-9:30	10分			中村和裕	未来の在宅救急医療における、戦力協心
	9:30-9:40	10分			林康弘	救急隊目線からみる在宅救急の課題
	9:40-9:50	10分		平泰彦	鈴木健介	在宅救急医療における救急救命士の活躍の可能性
	9:50-10:10	20分			上田浩平	救急救命士の処置拡大に向けた取り組み
	10:10-10:30	20分		守谷俊	山岸暁美	在宅医療・救急医療領域における メディカル・スタッフへのタスクシフト
	10:30-10:55	25分				総合討論
	10:55-11:00	5分			横田裕行	特別発言
休憩		10分				
特別講演3	11:10-12:00	50分		丹正勝久 大曽根卓	山口芳裕	放射線の基礎知識と被ばく傷病者対応時の留意点
パネル ディスカッション	12:00-13:20	80分		不搬送という課題		
	12:00-12:08	8分			石上雄一郎	不搬送指示のピットフォール
	12:08-12:16	8分			林康弘	救急搬送におけるDNARの課題～特定非営利活動法人道東救急医療研究会で提示された事例について～
	12:16-12:24	8分			高橋功	蘇生を希望しない終末期患者への対応
	12:24-12:32	8分		吉井慎一	真弓俊彦	不搬送におけるMCの役割について
	12:32-12:40	8分		小豆畑丈夫	脇島正	不搬送の対応事例と法的問題
	12:40-12:48	8分			細谷辰之	DNARの問題に対応するため考慮すべき、法哲学的、社会学的、経営学的、経済学的因子について
	12:48-13:20	32分				総合討論
緊急報告	13:20-13:40	20分		照沼秀也 小豆畑丈夫	島田潔	緊急報告：在宅医療の安全確保に関する調査報告書
閉会挨拶 及び次回開催挨拶	13:40-13:50	10分			横田裕行 代表理事 小豆畑丈夫 会長 阪本雄一郎 次期会長	

セッション	時間	発表	質疑応答	座長	演者	タイトル
要望演題５（５演題）	8:30-9:20	50分				
	8:30-8:40	7分	3分		飯田裕幸	吃音リハビリ外来における需要と効果
	8:40-8:50	7分	3分	吉川徹二	岡田玲子	在宅医療に於ける理想的な看取りを求めて
	8:50-9:00	7分	3分	福本和彦	柏僚太	新型コロナ病棟開設から受け入れを通しての病棟看護師の心理状況
	9:00-9:10	7分	3分		吉田誠	在宅療養の災害リスクとその認知度について
	9:10-9:20	7分	3分		上田亮	リモート薬剤師システムの導入による在宅救急医療の業務効率化